

		施策分野	指標	単位	幸福 関連 指標	具体的 推進方 策指 標	現状値(推移)				R2 (2020)	年度目標値								計画目標 値R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	国目標	進捗管理又は目標値設定の考え方	出典	
							H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)		R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)								R11 (2029)
1	第2章 横断的 施策	1 地域資源の活用による環境と経済の好循環	炭素生産性(温室効果ガス排出量1トン当たりの県内総生産)	千円/トン-CO2			300.9 (2015)	314.6 (2016)	317.1 (2015)	318.1 (2016)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	上昇を目指す(毎年度実績値を把握し、前年度からの変化を点検)	環境生活企画室調べ	
2		2 自然と共生した持続可能な県土づくり	快適に暮らせる生活環境に関する満足度	%			22.4	21.2	21.7	23.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	上昇を目指す(毎年度実績値を把握し、前年度からの変化を点検)	県の施策に関する県民意識調査	
3			災害に強く安心して暮らせる県土に関する満足度	%			24.9	27.0	26.7	24.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	上昇を目指す(毎年度実績値を把握し、前年度からの変化を点検)	県の施策に関する県民意識調査	
4		3 環境にやさしく健康で心豊かな暮らしの実現	自然に恵まれていると感じている人の割合	%			-	-	79.4	78.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	上昇を目指す(毎年度実績値を把握し、前年度からの変化を点検)	県の施策に関する県民意識調査
5			住まいに快適さを感じている人の割合	%			-	-	47.9	47.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	上昇を目指す(毎年度実績値を把握し、前年度からの変化を点検)	県の施策に関する県民意識調査
6	第3章 環境分野別 施策	1 気候変動対策	温室効果ガス排出削減割合(2013年度比)	%					14.5 ⁽²⁰¹⁶⁾	16.4 ⁽²⁰¹⁷⁾	18.3 ⁽²⁰¹⁸⁾	20.2 ⁽²⁰¹⁹⁾	22.1 ⁽²⁰²⁰⁾	24 ⁽²⁰²¹⁾	25.9 ⁽²⁰²²⁾	27.8 ⁽²⁰²³⁾	29.7 ⁽²⁰²⁴⁾	31.6 ⁽²⁰²⁵⁾	33.5 ⁽²⁰²⁶⁾	35.4 ⁽²⁰²⁷⁾	37.3 ⁽²⁰²⁸⁾	39.2 ⁽²⁰²⁹⁾	41 ⁽²⁰³⁰⁾	26 ⁽²⁰³⁰⁾	温室効果ガス排出量の2050年実質ゼロを見据え、2030年度の排出量について、省エネルギーの推進による削減を25%、再生可能エネルギーの導入による削減を7%、森林吸収による削減を9%と見込み、全体で41%削減することを目指す。	環境生活企画室調べ	
7			再生可能エネルギーによる電力自給率	%	○		23.6	28.0	29.5	29	35	36	37	47	50	53	56	59	61	63	65	-	-	-	-	再生可能エネルギーの事業計画等を踏まえ、2025年度を53%と見込み、2030年度までにさらに現計画における伸び率と同等の伸び率を目指す。	環境生活企画室調べ
8		2 循環型地域社会の形成	一般廃棄物のリサイクル率	%			18.5 ⁽²⁰¹⁵⁾	18.1 ⁽²⁰¹⁶⁾	18.4 ⁽²⁰¹⁷⁾	18.2 ⁽²⁰¹⁸⁾	20.6 ⁽²⁰¹⁹⁾	21.2 ⁽²⁰²⁰⁾	21.9 ⁽²⁰²¹⁾	22.5 ⁽²⁰²²⁾	23.2 ⁽²⁰²³⁾	23.8 ⁽²⁰²⁴⁾	24.4 ⁽²⁰²⁵⁾	25.1 ⁽²⁰²⁶⁾	25.7 ⁽²⁰²⁷⁾	26.4 ⁽²⁰²⁸⁾	27 ⁽²⁰²⁹⁾	-	-	-	27 ⁽²⁰²⁰⁾	2018年時点で東北1位であるものの、全国平均(19.9%)を下回っていることから、2030年度までに国の基本方針で示された全国の数値目標と同水準を目指す。	一般廃棄物処理事業実態調査
9	産業廃棄物の再生利用率		%			64.3 ⁽²⁰¹⁵⁾	63.1 ⁽²⁰¹⁶⁾	60.9 ⁽²⁰¹⁷⁾	60.6 ⁽²⁰¹⁸⁾	68.5 ⁽²⁰¹⁹⁾	60.6 ⁽²⁰²⁰⁾	60.6 ⁽²⁰²¹⁾	60.6 ⁽²⁰²²⁾	60.6 ⁽²⁰²³⁾	60.6 ⁽²⁰²⁴⁾	60.6 ⁽²⁰²⁵⁾	60.6 ⁽²⁰²⁶⁾	60.6 ⁽²⁰²⁷⁾	60.6 ⁽²⁰²⁸⁾	61 ⁽²⁰²⁹⁾	-	-	-	56 ⁽²⁰²⁰⁾	2018年時点で国の基本方針で示された全国の数値目標(2020年に56%)を上回っており、引き続き全国より高い水準の維持を目指す。	産業廃棄物実績報告書	
10	環境分野別 施策	3 生物多様性の保全・自然との共生	イヌワシつがい数	ペア	○		28	29	28	27	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	-	-	-	-	全国的に繁殖数が減少しており、全国有数のイヌワシの繁殖地である本県においても低い状況が続いていることから、本県のイヌワシのつがい数を過去5か年の最も高い数値で維持していくことを目指す。	環境保健研究センター調べ	
11			自然公園ビクターセンター等利用者数	千人	○		474	466	510	576	470	470	470	470	470	470	470	470	470	470	470	-	-	-	-	人口減少に伴い利用者数の減少が見込まれる中、2012～2019年の年間平均利用者数の水準を維持し、インバウンドや他県利用を含めて自然とのふれあいの機会を確保していくことを目指す。	自然保護課調べ
12	4 環境リスク管理		河川・湖沼・海域のBOD等環境基準達成率	%	○		98.2	99.1	99.1	99.1	99.1	99.1	99.1	99.1	99.1	99.1	99.1	99.1	99.1	99.1	-	-	-	-	現状において環境基準達成率の過去最高値が99.1%であって全国平均よりも高い水準であることから、今後も引き続きこの水準を維持することを目指す。	環境保全課調べ	
13			大気中のPM2.5等環境基準達成率 ^[注]	%	一部		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	-	-	-	-	現状において環境基準達成率が100%であることから、今後も引き続きこの水準を維持していくことを目指す。	環境保全課調べ
14	5 持続可能な社会づくりの担い手の育成と協働活動の推進		水生生物調査参加率(水生生物参加者数)	% 人		○	6.7 4,096	6.5 3,912	6.8 4,032	7.8 4,499	7 4,000	7 3,900	7 3,800	7 3,700	7 3,600	7 3,500	7 3,400	7 3,300	7 3,200	7 3,200	7 3,100	- -	- -	- -	- -	人口減少に伴い児童数の減少が見込まれる中、参加者数が全国2位及び3位であった2013～2019年の平均参加率6.9%を上回る7%の水準を維持していくことを目指す。(下段は参加者数(参考値))	環境保全課調べ 環境保全課調べ
15			環境学習交流センター利用者数	人	○		45,905	43,048	45,010	49,789	42,000	42,000	42,000	45,000	45,000	45,000	45,000	48,000	48,000	50,000	50,000	-	-	-	-	センターの主たる利用者である児童、生徒の数が減少傾向にある中で、Webを活用した講座の開催など、多様な手法による環境学習の取組を進め、過去最高値である2019年度の実績値49,789人と同水準の達成を目指す。	環境生活企画室調べ

[注]PM2.5等:二酸化窒素、浮遊粒子状物質、二酸化硫黄、一酸化炭素、微小粒子状物質